

ヨコハマタイヤコーポレーション CSRレポート

事業内容: 自動車用タイヤの生産・販売
 敷地面積: 422,000m²
 従業員数: 1,247人 (2012年12月現在)
 本社所在地: 601 South Acacia Avenue, Fullerton, CA 92831, U.S.A.
 工場所在地: 1500 Indiana Street, Salem, VA 24153, U.S.A.

相談・苦情などの受付窓口:

Environment Health and Safety Dept. Neil Dalton, Director of Environment Health and Safety
 TEL: +1-540-375-8209 FAX: +1-540-375-0226 メールアドレス: Neil.Dalton@yokohamatire.com



社長ご挨拶



野地 彦旬

ヨコハマタイヤコーポレーション (YTC) は、1969年に米国カリフォルニア州にタイヤ販売会社として設立され、1992年にモホーク・ラバー・カンパニー (現バージニア州セーラム工場) と合併してタイヤ生産販売会社となり、現在に至っています。

2012年はYTCの環境・CSR活動において、二つの大きな出来事がありました。

一つは、更生タイヤの台タイヤとしての性能の高さと低燃費性能の高さが評判となっている、

トラック用超偏平シングルタイヤ「RY407」を上市したことです。これにより、米国EPA(Environmental Protection Agency)に「低ころがり抵抗の低燃費タイヤ」として認証された「SMART WAY」タイヤは9サイズとなりました。

二つ目は、2012年4月にオレンジカウンティ市の「Metro Green

Team」表彰を受賞したことです。この表彰は、オレンジカウンティ市の環境対策に顕著な貢献をするとともに、世界的な二酸化炭素削減に寄与した企業に与えられるものです。

これら以外でも、4月にセーラム工場で千年の社プロジェクトの第4期植樹会を開催し、9月には同じくセーラム工場で不要となった家電製品のリサイクルイベントに協力するなど、環境貢献活動を積極的に推進しています。このリサイクルイベントには2010年から毎年協力しており、累計でおよそ25,000kgの廃棄物埋立て削減に貢献しています。

また、当社は、地域社会への貢献のため、従業員個人によるものも含めてさまざまな寄付を行っています。2012年は、アメリカ赤十字社や、乳がんの早期発見の大切さを伝える活動基金 (Susan G. Komen Foundation) への寄付など、さまざまな団体への寄付を行いました。YTCは、よき企業市民として、今後もさまざまな形で環境、CSR活動を進めていく所存です。

安全健康な職場環境

労働安全衛生

当社は、従業員に対して安全で衛生的な職場環境を提供することを基本方針としており、全ての管理監督者に対して安全な職場環境を維持し、連邦や州の安全衛生に関する規制を遵守するよう求めています。また、全ての従業員に対して、安全基準を守り、決められた手順通りに作業することや、安全に対する感度を高める訓練を行うことを徹底しており、危険な状況を発見した際には直ちに上司に報告することを義務付けています。職位や職責に関わらず、当社の全ての従業員は不安全な状況を改善する責任を負っています。

従業員の教育・訓練

当社では、新規に採用した従業員に対して、集合研修やe-ラーニングにより、さまざまな分野を網羅した詳細な安全教育を実施しています。これに加えて、セーラム工場でタイヤ製造に従事する従業員に対しては、原材料から仕上げまでタイヤがどのように作られるかを学ぶ「Tire 101」という研修プログラムを実施しています。ビジネスの基盤となる従業員に対して必要な教育を行うことは当社の義務であり、また永続的な繁栄のために不可欠であると考えています。

災害時の対応

当社のセーラム工場では、高いスキルを持った「Industrial Rescue Team」を組織しており、このチームが工場内で発生する可能性のある全ての災害に対応します。チームのメンバーは、閉所や高所の救助を想定した訓練も受けており、さまざまな状況の中で救助作業を行うことができます。火災やその他の緊急事態を想定した訓練も日常的に行われており、このチームは工場内の全ての従業員に認知されています。



環境マネジメントミッション： YTC ENVIRONMENTAL POLICY

- (1) 横浜ゴム(株)環境「GD100」を尊重し、業務活動として環境問題へ取り組む。
- (2) 環境マネジメントシステムを強化し、継続的改善により汚染に対する予防を行うことで、技術的・経済的に問題解決を進める。
- (3) 適用された法的要求と他の我々が同意した環境要求について遵守する。
- (4) 屑の削減、リサイクル、リサイクル社会の維持に貢献できる再利用を通じ、汚染防止活動を実施することで、自然界の維持に努める。
- (5) 業務を通じ、省エネルギー／エネルギー効率の改善／再生可能エネルギーを含めたエネルギーの責任ある使用により地球温暖化防止の活動を実施する。
- (6) 環境に関わる情報、教育、訓練を従業員に与え、ステークホルダーへの実践的な環境福祉援助に貢献を進める。
- (7) ビジネスプロセス、製品、活動に対する継続的改善に努力する。環境マネジメントシステムで設定されている環境目標を毎年目標と進捗をレビューし、監視していく。

環境データ

項目	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	
廃棄物発生量(t)	2820.0	2956.0	3518.6	4133.9	2793.6	
埋立率(%)	49.0	41.7	46.0	33.4	21.6	
エネルギー使用量 (原油換算：kl)	電力	21,463	20,747	21,635	22,178	21,527
	燃料	11,348	11,232	11,840	11,705	11,624
	合計	32,811	31,979	33,475	33,882	33,151
温室効果ガス排出量(千t-CO ₂)	68.6	66.8	70.0	70.9	69.2	
水使用量(千m ³)	189	171	196	198	134	

※年度：1月～12月

※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。

化学物質の管理状況

アメリカ合衆国においては、全ての製造業に対してTSCA（有害物質規正法）の遵守が求められています。当社においては、お客さまや従業員の安全を確保するためにTSCAのみならず、ほかの国際的な化学物質に関する法規制にのっとり社内規定や手順書を定め、適切な化学物質の管理を徹底しています。

騒音、振動、臭気について

2012年に、当社のセーラム工場に対して、近隣住民の方から1件の騒音に対する苦情をいただきました。この騒音は工場の屋外にある排気ファンのベアリング故障によるものであり、苦情をいただいてから即座に排気ファンの修理を行うとともに、その後は構内にあるすべての設備の騒音について、継続して日々の点検を実施しています。

ステークホルダーコミュニケーション

地域社会とのかかわり

①千年の杜プロジェクトの植樹活動

2012年4月にセーラム工場において第四期植樹会を開催しました。



②Eco Day 2012

2012年9月にセーラム工場において、Goodwill Industriesとの共催で地域住民の方を対象とした「E-Waste Recycling Day」を開催しました。セーラム工場の駐車場を不要な家電製品置場として提供したところ、3,000ポンドを超える家電製品が集まり、これらはリサイクル用として寄贈されました。





③募金や寄付などの実績

- ・ Apple Ridge Farm (恵まれない子供たちへの支援) ; \$10,000
- ・ United Way (ロアノーク地域での教育・家族・お年寄り・健康などの分野への支援) ;
会社\$15,000、従業員\$88,210.37、合計\$103,210.37
- ・ Roanoke Symphony (地域で活動する地元オーケストラへの支援) ; \$5,000
- ・ Junior Achievement of Southwest Virginia (地域の子どもたちへの教育支援) \$1,000

④地域交流イベントの実施および参加

- ・ 2102 Ride & Drive
販売店の方々と従業員を対象に、タイヤによる性能や乗り心地の違いを体感してもらうため、ヨコハマのさまざまなタイヤを装着した車を実際に運転していただくイベントを開催しました。
参加者の皆さまには、最速タイムを目指して“タイムアタック”を楽しんでいただきました。

⑤従業員感謝祭

2012年8月に、セーラム工場の従業員と家族の方々に工場に来ていただくイベントを開催しました。食事やゲームを楽しんだ後に、地元の野球チームSalem Red Soxの試合を観戦しました。

